

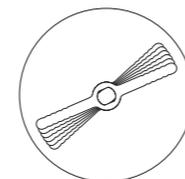
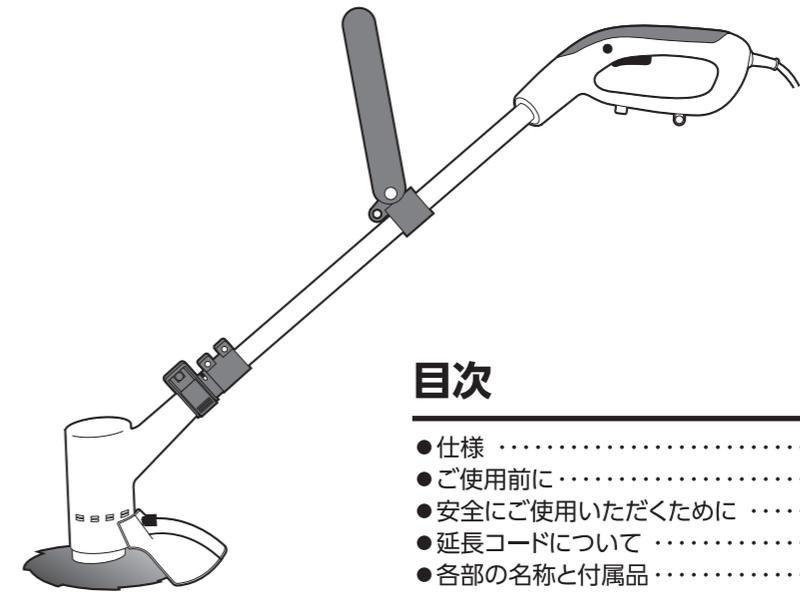


YBC-162

電気草刈機

家庭用

取扱説明書



樹脂ブレード付き



目次

- 仕様 1
- ご使用前に 1
- 安全にご使用いただくために 1~2
- 延長コードについて 2
- 各部の名称と付属品 3
- 組立方法 4~8
- 使用方法 9
- 刈り込み作業 10
- 保守と点検 11
- トラブルの原因と対策 11
- MEMO 12~14
- サービス・保証 15

お客様へ

- 本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。
- 本製品は草刈機です。それ以外の用途には使用しないでください。



二重絶縁

二重絶縁とは、電気回路と使用者が触れる外観部品との間が、異なる絶縁物で絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース接地する必要がありません。



警告

安全のため 必ず この取扱説明書をよくお読みください。

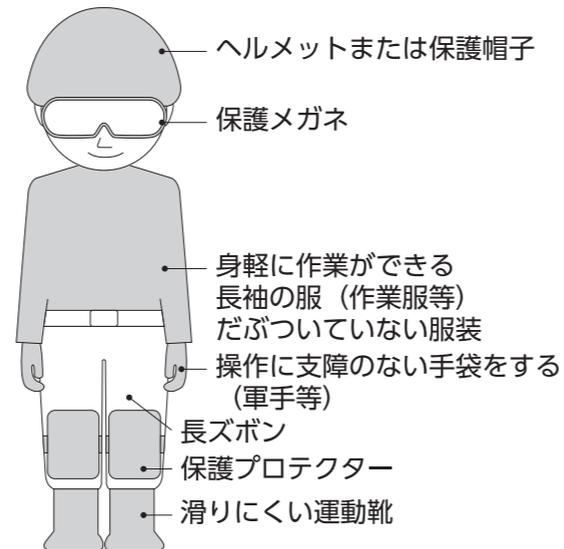
本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

定格時間30分とは

「気温が20℃の時に、連続して30分程度の使用が可能」という意味です。定格時間内であっても、外気温が高かったり、断続的でも長時間の作業をされる場合はモーターが熱を持つ前に作業を中断し、本機を休ませるようにしてください。

仕様		
型番	YBC-162	
電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	250W	
電流	2.5A	
定格時間	30分	
無負荷回転数	約6,000min ⁻¹	
絶縁構造	回二重絶縁	
カッター取付穴径(mm)	φ20mm	
本体寸法(mm)	約210×965~1310×215mm	
本体重量	約1.9kg(金属刃装着時)	
刈込幅	約160mm	

右図のような動きやすい服装で作業をおこなってください。



ご使用前に

この度はYAMAZEN電気草刈機「YBC-162」をお買いいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、警告事項・注意事項を厳守して、安全に正しくご使用ください。またお読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管しておいてください。

安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

※金属刃、樹脂ブレードを本書ではブレード(刃)と表記することがあります。

- 輸送途中の衝撃等の理由で部品や金具が緩んだり破損する事があります。使用前に必ず各部を確認してください。緩んだ状態や破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因となります。異常が見つかった場合、お買い求めの販売店か商品問い合わせ先までご相談ください。
- ご使用の前に電源コード、電源プラグを点検してください。電源コード、電源プラグが傷んだままご使用になりますと、火傷、感電、火災などのおそれがあり大変危険です。
- 作業者は長袖、長ズボン、滑りにくい運動靴、保護メガネ、ヘルメット又は帽子、プロテクター、手袋等を必ず身に付けてください。処理物が飛散した時など、思わぬ事故の原因となります。
- 安全カバーは必ず取付けてご使用ください。取付けないと、作業中に処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因となります。
- 電源は銘板に記載されている電圧でご使用ください。(本機は100V専用です)
- 作業前にブレード(刃)、安全カバーに欠けや割れが無い確認してください。
- 作業前に作業をする場所の小石、空き缶、金属片等を取り除いてください。ブレード(刃)に当たると飛散し、事故、ケガの原因となります。
- 作業場に電線などが無い事を確認してください。電線などがあるとブレード(刃)で切断のおそれがあり、感電や火災、漏電の事故の原因となります。

1

- 雨の中や雨上がり、散水直後の刈り込みはしないでください。感電や漏電のおそれがあり大変危険です。
- 揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 作業中は、本機のハンドル、ループハンドルをしっかりと握ってください。しっかりと握っていないと作業中に本機が振れて事故の原因となります。
- お子様やご使用方法がわからない方には絶対にご使用させないでください。
- お子様や作業員以外の人を作業場15m以内に近づけないでください。作業時に飛散した石ころや異物でケガをするおそれがあります。
- 運転中は絶対に回転部に手や足等を近づけないでください。
- 次の作業の時は、必ず電源プラグを抜いてから作業してください。
 - ・回転部の異物を取り除くとき。
 - ・回転部に直接触れる時。(ブレード(刃)の交換等)
 - ・調整、点検を行う時。
 - ・本機を持ち運ぶ時。
 - ・本機を使用しない時、保管する時。
- 本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は、ただちに使用をやめてお買い求めの販売店、又は商品問い合わせ先までご連絡ください。
- お客様ご自身の修理、改造は絶対にしないでください。重大な事故の原因となります。



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。取付けが確実でないと外れたり、事故の原因となります。
- 本機は大事にご使用ください。誤って落としたり、ぶつけた場合は異常の有無を確認してください。
- 電源コードを持って、電源コンセントからプラグを抜かないでください。火災やショートの原因となって大変危険です。
- 本機を保管する時は、お子様の手の届かない場所に安全な状態で保管してください。湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。
- 注意に表記してある場合でも状況によっては、死亡、重症等の重大な事故につながるおそれがありますので、必ず守ってください。

延長コードについて

- 付属の延長コードもしくは別売りの園芸用延長コードをご使用ください。

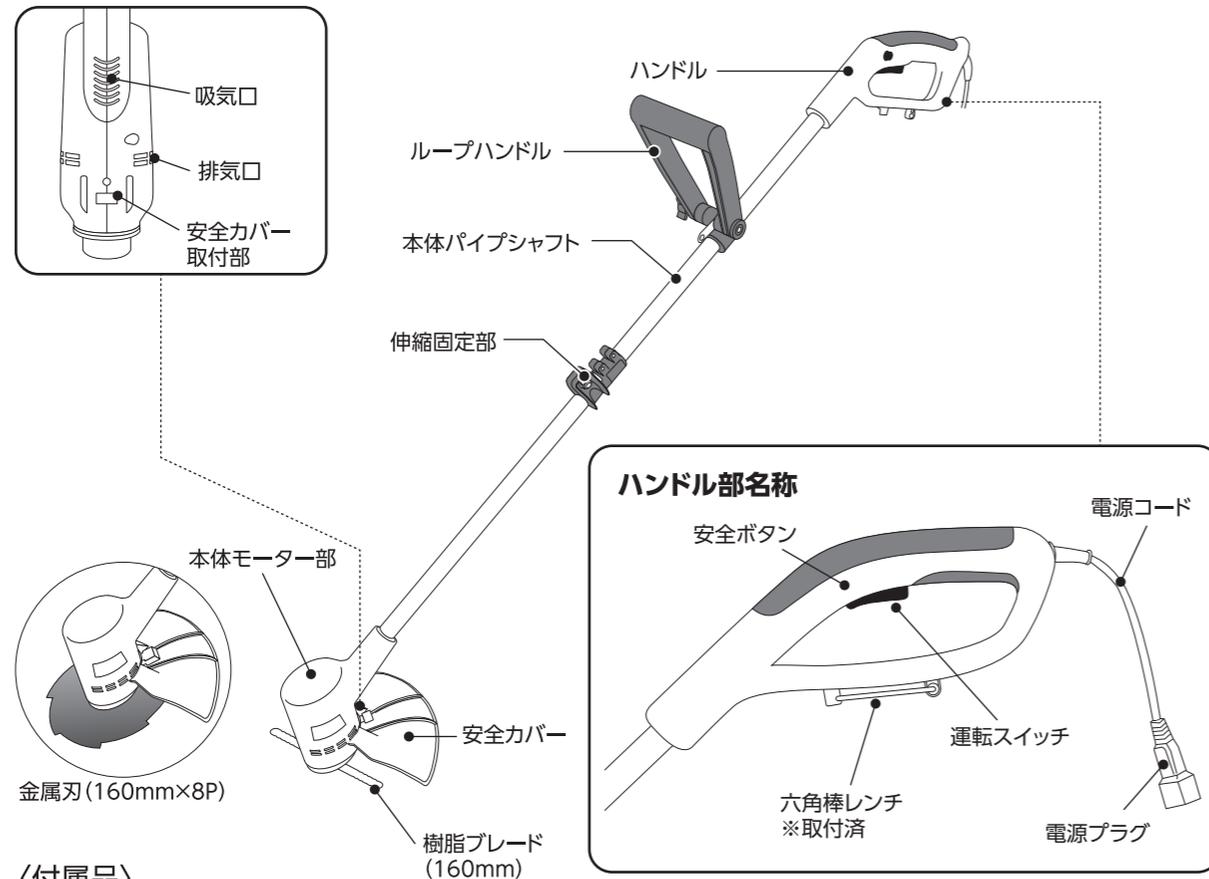
型番	延長コードの長さ
ECT-S708K	8m
ECT-S710	10m
ECT-S715K	15m
ECT-S720	20m

市販のものを使用する場合は十分な太さで出来るだけ短いコードをご使用ください。

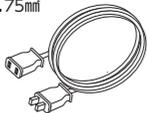
※ ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべてドラムから引き出してご使用ください。

2

各部の名称と付属品



〈付属品〉

①安全カバー×1  ※②③④は本体モーター部に取付済	②蝶ネジ×1  ③スプリングワッシャー×1  ④ワッシャー×1 	⑤ループハンドルセット×1 ⑤-1 ループハンドル×1  ※ループハンドルセットは本体パイプシャフトに取付済	⑤-2 ループハンドルベース×1  ⑤-3 ベルト取付金具×1  ⑤-4 固定ボルト×1  ⑤-5 固定ノブナット×1 
⑥ボックスレンチ×1 	⑦六角棒レンチ×1  ※ハンドル部に取付済	⑧保護メガネ×1 	⑨肩掛けバンド×1 
⑩延長コード10m×1 VCT7A 2×0.75mm 	⑪コードストラップ×1 	⑫ベルトフック×1 	⑬取扱説明書(本書)×1 
⑭金属刃 160mm×8P×1 (内径20mm) 型番:ABC-1620 	⑮樹脂ブレード 160mm×6 型番:GTK-110/BCB-1620 	⑯ロールガイド×1 	⑰ナット保護ボス×1 
⑱座付ナット×1  ※⑯⑰⑱は本機・モーター部に取付済			

組立方法

1 本体パイプシャフトの伸縮方法

- ①本体パイプシャフト伸縮部の伸縮リリースレバーを上げてフリー状態にしてください。(図1・2)
- ②ハンドル部を引っ張って、お好みの位置で伸縮部の伸縮リリースレバーを下げてロック状態にしてください。(図1・2)

注意 ●安全のため、伸縮部が確実にロックされているかご確認ください。

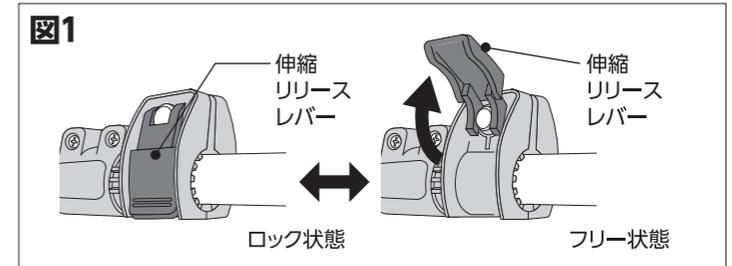
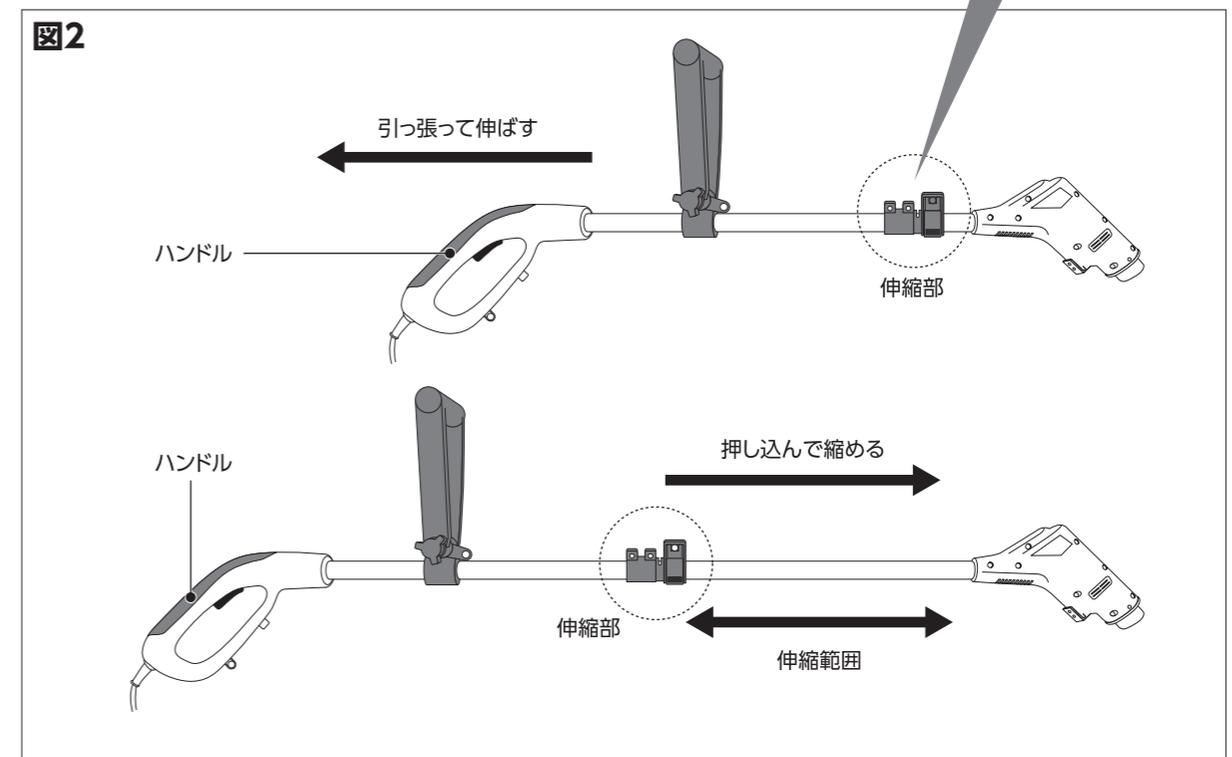
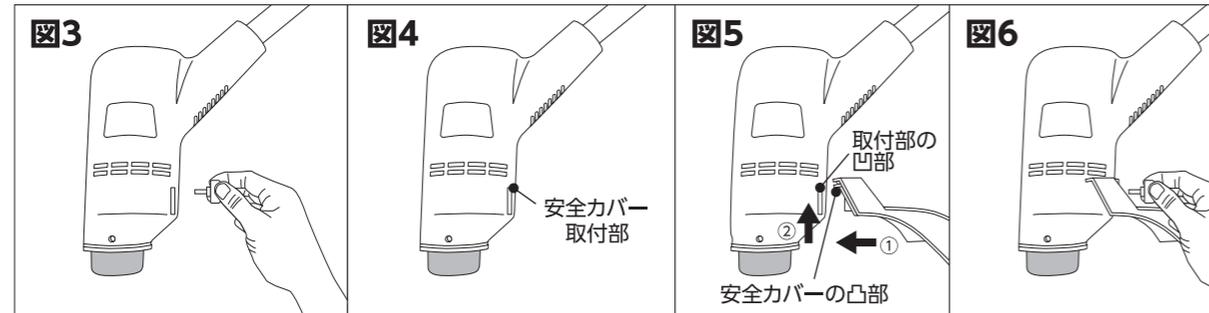


図2



2 安全カバーの取付け方

- ①本体モーター部についている、蝶ネジを左に回して(反時計回り)外してください。(図3・4)
- ②本体モーター部の凹部に安全カバーの凸部を合わせ下から上へスライドさせて取付けてください。(図5)
- ③安全カバーを取付けたら、蝶ネジにスプリングワッシャー・ワッシャーを取付けて、蝶ネジを右に回して(時計回り)しっかりと固定してください。(図6)

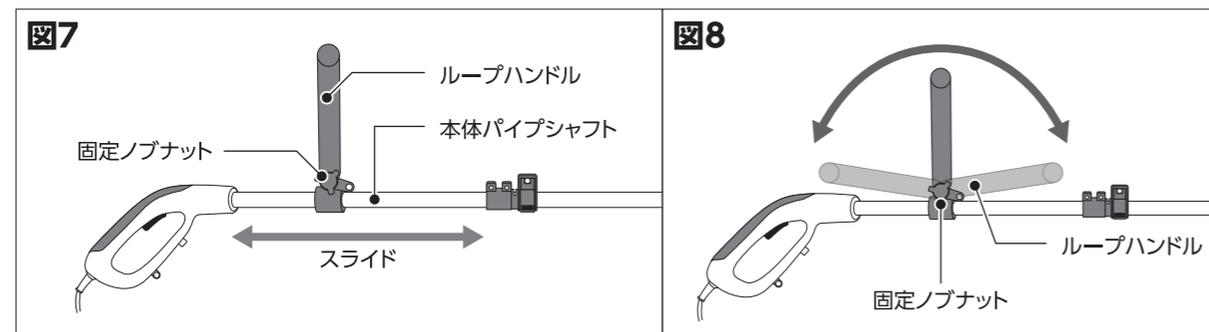


注意

- 必ず安全カバーを取付けて使用してください。
- 安全カバーを取付けずに使用すると処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因になります。

3 ループハンドルの調整方法

- ①ループハンドルに付いている、固定ノブナットを左に回して(反時計回り)緩めてください。(図7)
- ②ループハンドルを本体パイプシャフトの上下にスライドさせ使いやすい位置にセットし、ループハンドルの角度を調整し固定ノブナットを右に回して(時計回り)固定してください。(図8)



注意

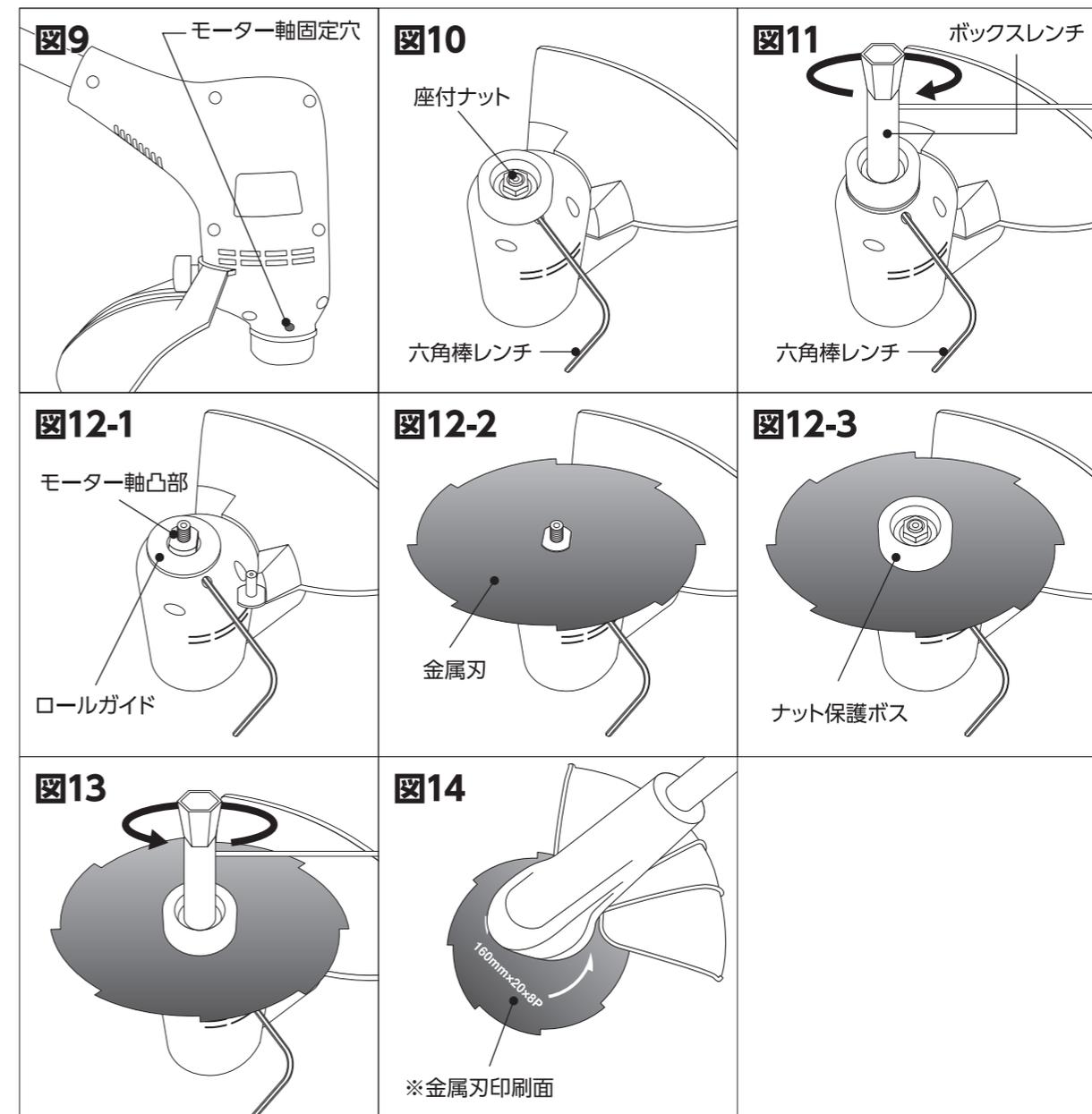
- ループハンドルは本体パイプシャフトに取付け済み。
- ループハンドルはガタ、ゆるみのないように確実に固定してください。

4 金属刃の取付け方

- ①本体モーター部にモーター軸固定穴があります。(反対側にもあります)(図9)
- ②この穴に付属の六角棒レンチを軽く押し込みながら、ナット保護ボスをゆっくり回してください。(図10)
モーター軸に穴が開いている箇所がありますので六角棒レンチでモーター軸が回らないように固定します。
- ③座付ナットを付属のボックスレンチで右に回して(時計回り)、座付ナット・ナット保護ボスはずします。(図11)
- ④モーター軸凸部にロールガイド→金属刃→ナット保護ボスの順に取付けます。(図12-1・2・3)
- ⑤座付ナットをボックスレンチで左に回して(反時計回り)強く締めてください。(図13)
- ⑥六角棒レンチをはずし、金属刃を手で軽く回して金属刃の取付け穴がモーター軸凸部からずれていないことを確認してください。ずれている場合は、もう一度金属刃を取付け直してください。

注意

- 金属刃をはずすときは、取付け方と逆の手順で行います。
- 定期的に座付ナットが緩んでないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
- 金属刃の表裏に注意してください。刈り込み作業時印刷面が見えるように取付けてください。(図14)



5 樹脂ブレードの取付け方



警告

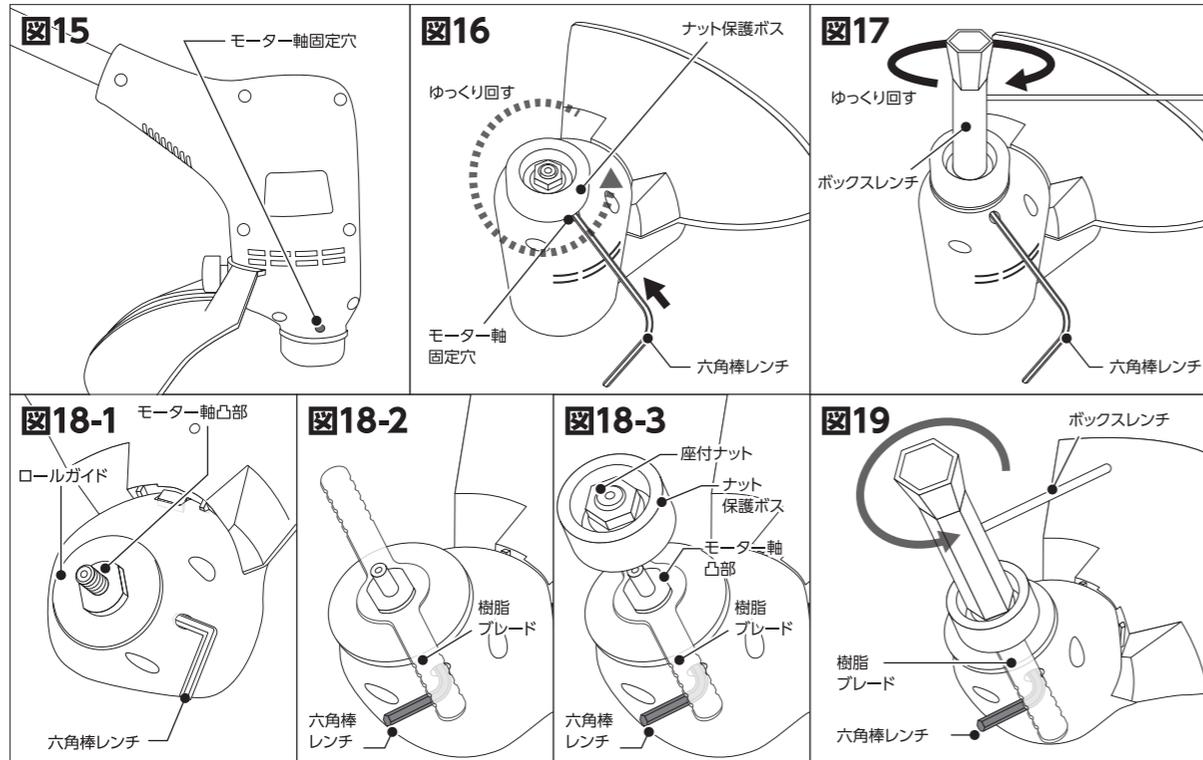
●必ず丈夫な手袋をつけてケガをしない様に刃先等に気を付けておこなってください。

- ①本体モーター部にモーター軸固定穴があります。(反対側にもあります) (図15)
- ②この穴に付属の六角棒レンチを軽く押し込みながら、ナット保護ボスをゆっくり回してください。
モーター軸に穴が開いている箇所がありますので六角棒レンチでモーター軸が回らないように固定します。(図16)
- ③座付ナットを付属のボックスレンチで右に回して(時計回り)、座付ナット・ナット保護ボスを外します。(図17)
※この際、ロールガイドは取り外さないでください。ロールガイドを外して使用するとモーターに草が絡まり故障の原因となります。
- ④モーター軸凸部にロールガイド→樹脂ブレード→ナット保護ボス→座付ナットの順に取付けます。(図18-1・2・3)
- ⑤座付ナットをボックスレンチで左に回して(反時計回り)強く締めてください。(図19)
- ⑥六角棒レンチを外し、樹脂ブレードを手で軽く回して樹脂ブレードの取付け穴がモーター軸凸部からずれていないことを確認してください。ずれている場合は、もう一度樹脂ブレードを取付け直してください。



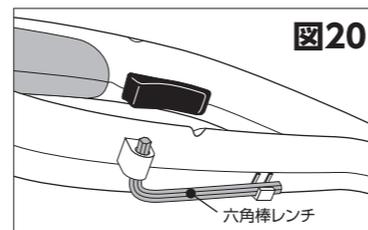
注意

- 六角棒レンチはハンドル部に取付けられています。
- 樹脂ブレードを外すときは、取付け方と逆の手順でおこなってください。
- 定期的に座付ナットが緩んでないか点検してください。緩んでいたら締め増してください。



6 工具収納方法

使い終わった六角棒レンチはハンドル部に収納することができます。(図20)



7 肩掛けバンドの取付け方・取り外し方

- ①肩掛けバンドのフックをループハンドルのベルト取付金具に取付けてください。(図21)
- ②肩掛けバンドを左肩からたすき掛けし、フックをループハンドルに確実に引っ掛けます。(図21・22)
- ③金属刃若しくは樹脂ブレードが地面と水平になるように肩掛けバンドの長さを調節してください。(図22)
- ④フック及びワンタッチ安全バックルを引っ張って抜けないことを確認してください。
- ⑤バックルストッパーを両側から押すとバックルが外れます。(図23)

図21

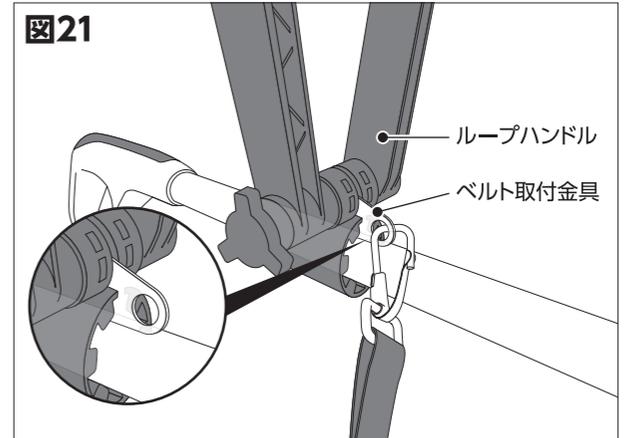


図22

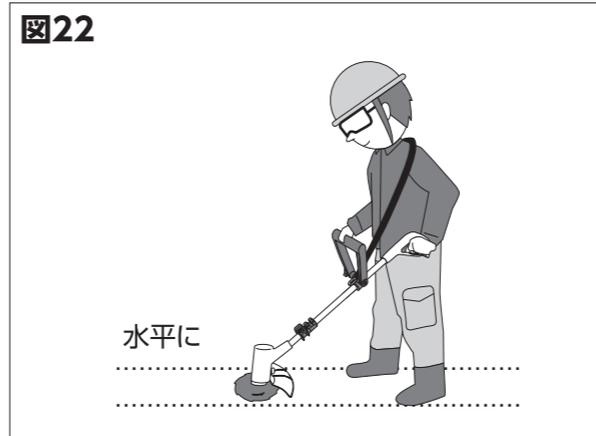
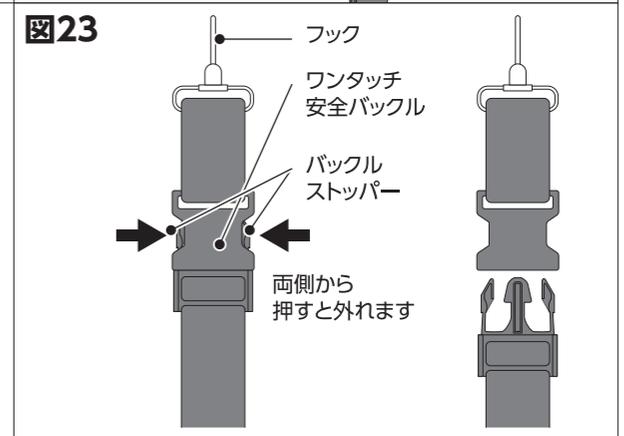


図23



注意

●緊急時にはバックルストッパーを押して、本機を離脱してください。緊急時は本機の支持に細心の注意をはらってください。

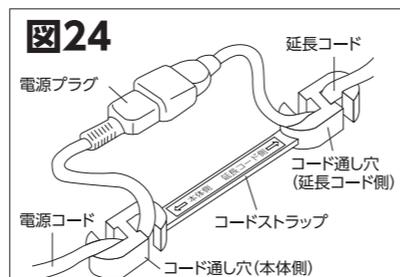
使用方法

警告

●電源プラグを延長コードに接続する時や延長コードを電源コンセントに差し込む前に、本機のスイッチが切れている事を確認してください。スイッチが入ったまま電源に接続すると不意に動き出し、重大な事故になるおそれがあります。また、使用後はスイッチが切れている事を確認して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

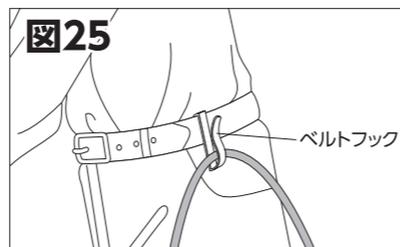
1 電源プラグの接続方法

電源プラグと延長コードを接続するときは付属のコードストラップのコード通し穴(本体側)に本体側の電源コードを、コード通し穴(延長コード側)に延長コードを通して接続部が簡単に抜けないようにセットしてください。(図24)



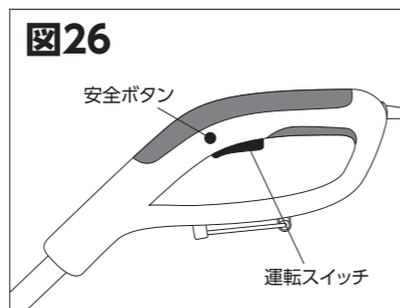
2 ご使用前の準備

延長コードをベルトフックに掛けてご使用ください。足元のコードを気にすることなく作業できます。(図25)



3 運転スイッチ

始動させる際は安全ボタンを押しながら運転スイッチをしっかりと握ってください。始動後は安全ボタンを離して、運転スイッチのみでご使用ください。(図26)



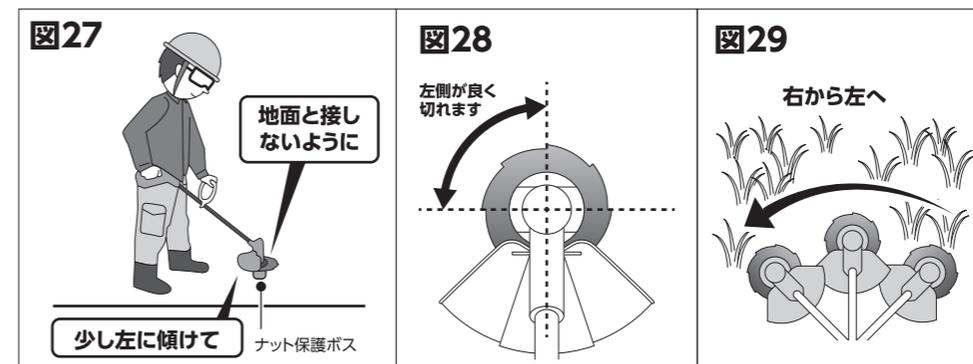
注意

●周囲の安全を確認してからスイッチを入れてください。

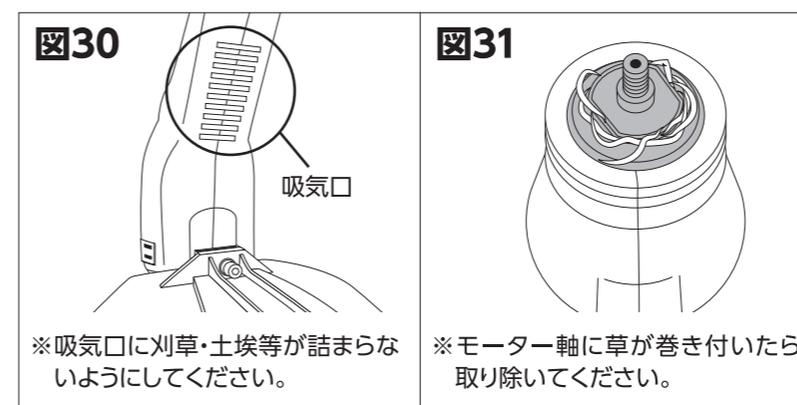
刈り込み作業 (故障なく、長くご使用いただくために、下記の事にご注意ください。)

作業前に作業する場所の小石、空き缶、空き瓶等の障害物を取り除いてください。

- ①肩掛けバンドを使用し、本機を体の右側で持ってください。
- ②左手でループハンドル・右手でハンドルを握り、安定した姿勢で作業してください。(図27)
- ③ナット保護ボスを地面から浮かし、少し左に傾け、ブレード(刃)の左側で作業してください。(図27・28)
- ④ブレード(刃)は反時計回りに回転しますので、左側が良く切れます。右から左に体の周りを回すように刈ってください。(図28・29)
- ⑤草の密集した場所で押し付けるようにするとモーターの回転が落ち、機械に負担がかかり故障の原因になります。回転が落ちないように作業してください。
- ⑥足元が滑りやすい場所等では使用しないでください。



- ⑦モーター上部の吸気口に刈草・土埃等が詰まらないよう、時々点検し、除去してください。吸気口が詰まった状態で使用するとモーター焼けの原因になります。(図30)
- ⑧安全の為に、定期的に座付ナットが緩んでいないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
- ⑨使用中に異常な振動があった場合は、ただちに作業を中止してください。
- ⑩草が巻き付いたら取り除いてください。回転が落ちたり、モーターが止まったりしてモーター焼けの原因になります。(図31)



注意

- ロールガイドは必ず取付けてください。外して使用されると草がモーターにからみモーター焼けの原因になります。
- からんだ草を取り除く際は、必ず電源コードを抜いてください。

保守と点検

- 使用後は乾いた布で汚れをよく拭き取ってください。
- 高温・多湿、雨の当たりやすい軒下などを避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 長時間の使用後、又は数回使用したあとはブレード(刃)やブレード(刃)取付部位の点検をおこなってください。傷んでいる場合には新しい物と交換してください。

トラブルの原因と対策 (本製品は一般住居での草刈を目的にしていますので、 広範囲での使用は避けてください。)



警告

●原因の調査や対策を講じられる場合は必ず本機のスイッチが切れていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。

症状	原因	対策
動かない	電源プラグが電源から抜けていませんか。	電源プラグを電源にしっかり差し込んでください。 又、電源コンセントに電気が流れているか確認してください。
	延長コードが切れたり、断線していませんか。	断線している場合は延長コードを交換してください。
	ブレード(刃)に異物が巻きついていませんか。	異物を取り除いてください。
	スイッチの接点不良	お買い求めの販売店、又は商品問合わせ先にお問い合わせください。
異音が出た	ブレード(刃)に異物が巻きついていませんか。	異物を取り除いてください。
	ブレード(刃)がガケたり、割れたりしていませんか。	P6~P7 組立方法 45 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
	ブレード(刃)が間違っ取付けられていますか。	P6~P7 組立方法 45 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
うまく草が 刈れない	ブレード(刃)がガケたり、変形したりしていませんか。	P6~P7 組立方法 45 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
	ブレード(刃)を逆に取付けていませんか。	P6~P7 組立方法 45 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
	刈り込むスピードが遅すぎませんか。	本機が刈り込む速度に合わせゆっくり進んでください。
	モーターに負荷を掛け過ぎていませんか。	ブレード(刃)を強く押し付けず、モーターの回転を利用し徐々に刈進んでください。
	ブレード(刃)の寿命ではありませんか。	新しいブレード(刃)に交換してください。
煙が出た	モーターが焼き付いていませんか。	お買い求めの販売店、又は商品問合わせ先にお問い合わせください。

MEMO

MEMO

Lined writing area for page 13, consisting of 20 horizontal dashed lines.

MEMO

Lined writing area for page 14, consisting of 20 horizontal dashed lines.